

第1回企画等専門調査会(平成23年11月21日)資料  
 「<平成23年度>食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補について(案)」抜粋

評価課題／危害要因	危害要因に関する概要等	国内外における評価状況、管理状況等
キダチアロエ	<p>・独立行政法人国立健康・栄養研究所:「健康食品」の安全性・有効性情報  <a href="http://hfnet.nih.go.jp/contents/detail109lite.html">http://hfnet.nih.go.jp/contents/detail109lite.html</a></p> <p>キダチアロエは、南米アフリカ(ケープ、トランスバール地方)の原産で、日本には江戸時代に渡来し、観賞用、薬用として各地で栽培されている。</p> <p>安全性については、妊娠中・授乳中や月経時、8日以上の使用、12歳以下の小児に対する使用は避けること、腸閉塞や原因不明の腹痛、腸の炎症を伴う症状、痔疾、腎臓障害には禁忌とされている。</p>	<p>&lt;国内&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品安全委員会による評価状況:なし。</li> <li>・厚生労働省:「健康食品」の安全性・有効性データベースについて平成16(2004)年7月14日食安新発第0714001号</li> </ul> <p>「健康食品」については、国民の健康に対する関心が高まるとともに、健康と食に関する情報が氾濫するようになり、中には、過剰摂取や過度の痩身行為などの偏った食生活を導く不適正な情報あるいは非科学的な情報も増え、国民の混乱を招いているとの指摘が少なくありません。</p> <p>こうした状況を改善するため、本年6月9日にまとめられた「健康食品」に係る今後の制度のあり方に関する検討会」の提言においても、普及啓発として「健康食品」の有効性・安全性について中立的な情報提供を行うデータベース等を活用すべきであるとされています。</p> <p>今般、その「健康食品」の安全性・有効性データベースが独立行政法人国立健康・栄養研究所のホームページに開設されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独立行政法人国立健康・栄養研究所:ホームページ「健康食品」の安全性・有効性情報  <a href="http://hfnet.nih.go.jp/contents/detail109.html">http://hfnet.nih.go.jp/contents/detail109.html</a></li> </ul>